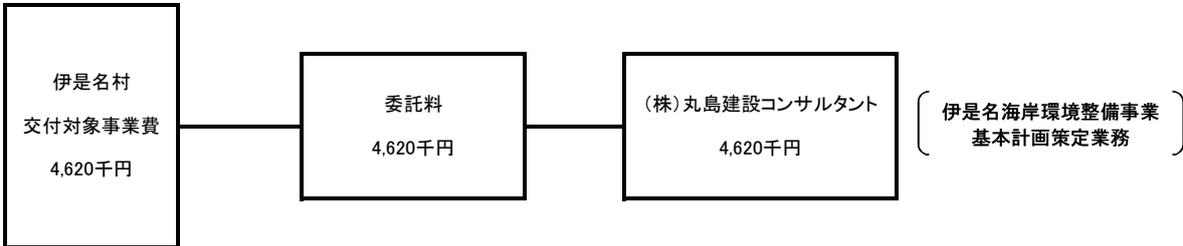


市町村名	伊是名村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	伊是名海岸環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和3~令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村の観光地である「伊是名海岸」(通称:伊是名ビーチ)の周辺環境を整備することで、村民や観光客等に対し、快適な施設を提供するだけでなく、緑あふれる癒しの景観づくりを推進することで、観光振興及び活力に満ちた地域振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4664	4,664			
		(b)予算現額	4664	4,664			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-4,664	0			
	A. 計(b+d)		0	4,664	0	0	0
	B. 執行済額		0	4620			
	うち交付金充当額		0	3696			
	次年度繰越額		4664	0			
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	99.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		隣接地区の他事業の兼ね合いにより追加測量があり、R4年度へ繰越したが、繰越期限までに完了し、予算執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	伊是名海岸環境整備基本計画の策定	目標	(基本計画策定)	()	()	()	()
		実績	完了				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	基本計画策定にあたって、事業実施隣接地区、他事業による進捗の兼ね合いにより細部までの調整に不測の日数を要したため、全額繰越した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	伊是名海岸環境整備基本計画策定完了	目標	()	(基本計画策定)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	隣接地区の他事業の兼ね合いにより追加測量があり、R4年度へ繰越したが、無事繰越期限までに完了できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	隣接地区の高潮対策工事と密に調整し、工事完了を目指す。 本地区は、いぜん88トライアスロン大会のスィム会場となっているため、大会運営に支障がないよう発注する必要がある。	トライアスロン大会は、毎年11月に開催されるため、早めに発注し、大会前までの完了を目指す。
今後の取り組み方針		
コンサルと密に連携し、発注準備する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,620	4,620	3,696	924	0



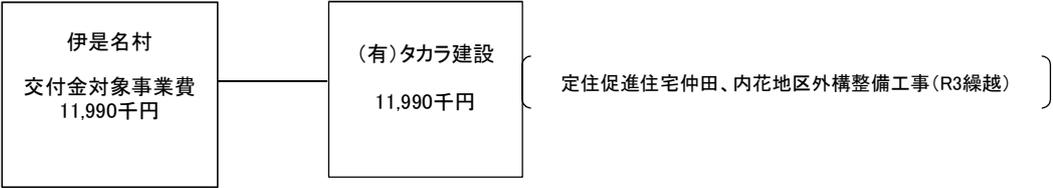
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模については不用額は44,000円であり、適正な規模であったと考えている。 ・費目・用途について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和3年度(繰越)沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	k0336izen		定住促進住宅整備事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ	
	担当部署名	建設環境課		事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	夕離島の振興に資する事業等 Ⅲ-9
事業内容	本村は、北部地域の小規模離島が故に、民間による住宅供給が困難であることから、I・Uターンといった移住者等を受け入れられる環境が整っていない。沖繩県が人口増加傾向にある中、本村は過疎化が進行し、少子高齢化が顕著である。一つの要因として、住居不足による定住条件の不利益があるため、定住促進住宅を建築整備する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a)当初予算額	8,963	101,000	126,000	16,000	16,000
	(b)予算現額	8,963	61,850	126,000	16,000	16,000	
	(c)増減額(b-a)	0	▲39,150	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	▲16,000	0	
	A.計(b+d)	8,963	61,850	126,000	0	16,000	
	B.執行済額	8,963	59,739	126,000	0	11,990	
	うち交付金充当額	7,170	46,475	100,800	0	9,592	
	次年度繰越額	0	0	0	16,000	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	96.6%	100.0%	#DIV/0!	74.9%	
予算の状況の説明	先行した建築工事の進捗により目標の達成できず、外構工事費に係る16,000千円を令和4年度に繰越、実施し、予算の範囲内で執行出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	建築工事(仲田、内花地区)の周辺外構整備を行う		目標 (建築工事)	(建築工事)	(外構工事の実施)	(外構工事の実施)	
			実績 建築工事完了 仲田1棟目	建築工事完了 仲田2棟目、内花1棟目	R4年度へ繰越	外構工事の完了	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	建築工事の進捗により、適正工期の確保が困難となったため、R4年度へ繰越を余儀なくされた。なお、単価見直し等により発注時期が2/4半期とやや遅めになったが、無事完成出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	建築工事に係る周辺外構整備の完了		目標 ()	(建築工事)	(建築工事)	(外構整備)	()
			実績	建築工事完了	建築工事完了 仲田2棟目、内花1棟目	完了	
	【R3成果目標】 仲田区:1人		目標 ()	(-)	(仲田区:2世帯)	(仲田区:1人)	()
		実績	-	仲田1号 (2人入居)	仲田1号 (1人入居)		
進捗状況説明	建築工事の進捗により、適正工期の確保が困難となったため、R4年度へ繰越を余儀なくされた。なお、単価見直し等により発注時期が2/4半期とやや遅めになったが、無事完成出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今後も適正工期設定による円滑な整備完了となるように、取り組んでいくことが必要と考える。</p>	<p>・建築工事の適正工期確保等、早期の取り組みにより、事業実施期間中での不測な事情に対応でき、年度内完成が可能になるものとする。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・速やかな工事の発注に向けた積算等、入札準備を早期に取り組み努めることで、早期の目標達成に繋げる。 ・施工時には関連業者と連絡体制を密にし、不測の事情に対応出来る体制づくりを構築し、発注後の繰越が発生しないように努める。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,990	11,990	9,592	2,398	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について入札残、変更対応等による不用額が4,010千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	